

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	679 配水施設運転管理等事業					
予算科目	AA-010201-01	営業費用	配水及び給水費 (委託料)	担当部課	上下水道局水道監視センター	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務 (任意)	
				事業体制	全て委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	水道法			SDGs	06安全な水とトイレを世界中に	
					11住み続けられるまちづくりを	
					12つくる責任つかう責任	

事業の概要

対象	水道利用者 (市民)
目的	安全、安心でかつ良質な水道水を安定的に供給する。
概要 (取組内容)	浄配水施設の運転管理や水質管理業務等について、水道法第24条の3に基づく第三者委託を行う。加えて、水道供給の安心・安全・安定性を確保するため、きめ細やかな自主管理基準による水質管理を行うことのほか、運転管理の信頼性、効率性を向上するため、省力化・高信頼性の運転管理方法やライフサイクルコストや維持管理性を意識した施設・設備の修繕・更新計画の立案、新規技術の活用を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	175,871	190,913	153,989	153,188	353,586	
	決算額	(千円)	175,870	190,913	153,989	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	175,870	190,913	153,989	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,819	5,565	6,901	6,908	6,908	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.80	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	40.00	37.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	中央配水場配水残留塩素濃度 (年平均) (mg/L)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
実績	0.7	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0
指標の概要	配水末端の残留塩素濃度を0.1mg/L以上を担保しつつ、配水場周辺でのカルキ臭の低減に努める (中央配水場で管理する残留塩素濃度)					

2	指標名	葛城配水場配水残留塩素濃度（年平均）（ mg/L ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
	実績	0.7	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0
	指標の概要	配水末端の残留塩素濃度を0.1mg/L以上を担保しつつ、配水場周辺でのカルキ臭の低減に努める（葛城配水場で管理する残留塩素濃度）					
3	指標名	南部配水場配水残留塩素濃度（年平均）（ mg/L ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
	実績	0.7	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0
	指標の概要	配水末端の残留塩素濃度を0.1mg/L以上を担保しつつ、配水場周辺でのカルキ臭の低減に努める（南部配水場で管理する残留塩素濃度）					
4	指標名	君島配水場配水残留塩素濃度（年平均）（ mg/L ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
	実績	0.6	0.6	0.6	0.5	0.0	0.0
	指標の概要	配水末端の残留塩素濃度を0.1mg/L以上を担保しつつ、配水場周辺でのカルキ臭の低減に努める（君島配水場で管理する残留塩素濃度）					
5	指標名	（ ）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	運転管理等受託者と月例ミーティングや情報共有を密に行うこととし、不測の事態への臨機への対応、機器トラブル、断水事故等の予防に努めている。	
成果	良好かつ確実な運転管理等が実施されたことにより、水道利用者に安心安全な水道水を安定的に供給することができた。 また、次期業務委託についても、現運転管理等受託者から改善案等を提案していただき、それを踏まえた要求水準書や性能仕様書等を作成することができた。	
課題	業務	水道利用者の安心性向上のため、引き続き、残留塩素濃度の細やかな調整を行う。また、更なる省力化・高信頼性の運転管理とするため、施設・設備の更新を行うとともに、施設監視機能の強化を図っていく。
	組織、予算等	持続的かつ安定的な事業運営のため、水道事業経験者の確保や技術者の育成が急務である。
改善目標	水道利用者が満足する水道水を提供するため、施設ごとに残留塩素濃度目標を策定し、それに基づき運転管理を行う。施設・設備の修繕・更新に当たっては、維持管理性や監視機能の向上のため、実施設計等において、運転管理等受託者の意見等も反映させる。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	680 水質検査事業					
予算科目	AA-010201-01	営業費用	配水及び給水費（委託料）	担当部課	上下水道局水道監視センター	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	上下水道局水質検査計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	水道法、水道法施行規則及び水質基準に関する省令			SDGs	06安全な水とトイレを世界中に	

事業の概要

対象	水道利用者
目的	水道利用者が安心して飲用できるよう、常に安全で良好な水質であることを確認する。
概要 (取組内容)	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく項目、頻度等により水質検査を実施することで、水道水が水質基準に適合していることを確認する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	5,006	4,801	4,292	4,292	0	
	決算額	(千円)	4,520	4,064	3,410	3,685	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,520	4,064	3,410	3,685	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	2,734	1,362	1,362	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.40	0.20	0.20	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	水質検査実検体数 (検体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	202.0	203.0	203.0	203.0	0.0
	指標の概要	水質検査実施検体数の合計。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応						
成果	水質検査の結果が検査した203検体において基準の範囲内であったことから、水道利用者が安心して飲用できる水道水の供給が行えた。					
課題	業務					
	組織、予算等					
改善目標						

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	681 配水施設修繕及び改良事業					
予算科目	AA-010102-01	施設改良費	施設改良費	(工事請負費)	担当部課	上下水道局水道監視センター
市長公約					係名	
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務 (任意)
					事業体制	全て委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	06安全な水とトイレを世界中に
						11住み続けられるまちづくりを
						12つくる責任つかう責任

事業の概要

対象	水道利用者
目的	各施設設備の故障における断水・水質事故等を未然に防止するため、修繕及び更新工事を進める。
概要 (取組内容)	設備点検の結果で報告された要補修修繕箇所や突発的な故障に対して、修繕を行う。また、予防保全のための計画的な更新計画の立案やその設計・工事を行う。併せて、事故等発生時の迅速かつ的確な対応および復旧を行うための、設備の機能増設を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	9,900	16,500	240,677	1,079,892	1,856,942	
	決算額	(千円)	24,463	9,918	58,690	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	24,463	9,918	58,690	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,819	5,552	12,349	13,718	13,718	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.80	1.80	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	35.00	37.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	中央配水場更新計画の事業進捗率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
	実績	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	指標の概要	10年計画の事業執行率					

2	指標名	老朽化対策実施計画の事業進捗率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	5年計画の事業執行率					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	基本計画・基本設計を策定してある中央配水場以外の浄配水場について、重要度・緊急度の高い設備の更新等について、アセットマネジメントにおける送配水施設設備老朽化対策実施計画を策定した。	
成果	中央配水場のポンプ設備等について、基本計画・基本設計に基づき、No.2送水ポンプ設備更新、施設改修工事を発注した。また、同計画を前倒しし、令和5年度にNo.3配水ポンプ設備を更新する準備を行った。計画になかった君島配水場の電気・計装設備更新工事の実施設計を行い、次年度の工事に向けた準備を進めた。	
課題	業務	老朽化対策計画に基づく、更新工事等の確実な実施が必要となっている。また、運転管理等受託者と相互で意思疎通を図りながら、必要等に応じて計画の前倒しなど、随時計画の見直しを行う。
	組織、予算等	更新等計画策定や設計・工事調整において、工事受注者、委託受託者、運転管理等受託者とが連携し、更新工事を確実に進める必要がある。また、水道事業における水道経験者の確保や技術者の育成が急務である。
改善目標	発注した全ての工事および運転管理運用において、無事故となるようにする。また、老朽化対策計画に基づく工事を進めていくことで、今後の設備故障等による断水事故の発生をゼロにする。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—